

第Ⅳ期 渋谷川・古川流域連絡会議事録（第2回）

開催日時 平成21年3月12日（木） 14時00分～16時00分

開催場所 渋谷区立勤労福祉会館2F 第一洋室

【議 事】

平成21年3月12日（木）の14時00分から、渋谷区立勤労福祉会館2F 第一洋室において第Ⅳ期第2回渋谷川・古川流域連絡会を開催しました。都民委員9名、行政委員18名が出席し、河川整備計画等の議題に対して意見交換を行いました。

【配布資料】

- 資料1 議事次第
- 資料2 座席表
- 資料3 第Ⅳ期渋谷川・古川流域連絡会議事録（第一回）案
- 資料4 古川の水質について（港区の調査）
- 資料5 合流式下水道の課題と対策

- 参考資料
- ・渋谷川・古川河川整備計画縦覧において提出された意見書への対応（基本的な考え方）
 - ・渋谷川の参考記事（渋谷ユネスコ便り）
 - ・古川水系渋谷川・古川河川整備計画（素案）へのご意見について
 - ・水辺空間における緑化の推進
- 回覧
- ・渋谷川の写真（都民委員撮影）

■ 議題（1）前回議事録

前回連絡会の議事内容の説明がありました。

【意見交換】

（都民委員）

暗渠になるのかと聞いたら「意見にお答えできない」という書き方は如何なものでしょうか。

（副座長）

所管部署ではないので答えられないという回答を出した。役所なので責任を持った形で言いたいため、答えられなくなります。

（座長）

議事内容として言い方が不正確で、「こういう立場だからこの場では答えられない」というようにしたらどうでしょうか。

（事務局）

渋谷駅前の再開発の話でしたので答えられる範疇ではなかった。

■ 議題（2）渋谷川・古川河川整備計画に対するパブコメ結果

参考資料

渋谷川・古川河川整備計画縦覧において提出された意見書への対応（基本的な考え方）。

【意見交換】

（行政委員）

平成16年11月に流域連絡会第二期第3回で配布したもの。備考が本文に反映されている。流域連絡会前段の平成10年に流域懇談会があり、報告書をベースに素案を作成してあり、改定していった原案がある。この10年間で意見を吸い上げて、練り上げたものである。

（都民委員）

積み上げた意見が生かされているのか。

（河川部）

二層化については「春の小川構想」などでたびたび出てきている。蓋を掛けて、上にせせらぎを流すことを言います。

（行政委員）

都市計画で、河川を2層化するのはいずれの話である。

(座長)

河川行政として、正式に検討しているものは紹介してほしい。河川部局として、真剣に扱っている情報をここで紹介してほしい。

(行政委員)

河川行政と、情報提供あるいは住民の意見のフィードバックの場だと思う。貴重な意見として反映していると思うが、公的な位置付けは答えづらい。

(都民委員)

国土交通省が都市再生事業の一つで国の中の地球的な環境問題として、平成9年に河川法が改正された中で、期待されている二級河川として渋谷川が選ばれたものとして見てきた。蓋をされて暗渠(下水化)にされた川を再生するものだと解釈していた。

(座長)

流域連絡会が出来た経緯と、渋谷川・古川の独特の位置付けがあるのか教えてほしい。

(行政委員)

設立の趣旨は、河川法の改正で今まで利水・治水の面を面倒見ていたが、環境の部分をもどのように整備していくかという話になった時に、流域住民の意見を反映していくための窓口として、流域連絡会を活用していきこうことで設立された。

■ 議題(3) 古川の水質について

古川の水質調査は港区が毎月行っている。昭和47年以降続けられている。

1995年から高度処理水を流し始め、BODが減少し、水質は良くなってきているが、水温が徐々に上がってきている。おそらく下水処理水が暖かいので、その影響があるのではないかと。

【意見交換】

(都民委員)

調査の効果はあるのか。水質が悪い場合は、何か対策しているのか。

(行政委員)

港区の定期的な調査なので、目的があるものではない。

(行政委員)

大きな河川では定期的に行い、都・環境局に報告し統計資料としている。

(都民委員)

毒物チェックは行っているのか。

(行政委員)

項目はこの資料の通り。

■ 議題(4) 合流式下水道の課題と対策について

天現寺付近について事務局で説明(資料5)を行った。

【意見交換】

(座長)

工事管渠と浸水範囲は関係あるのか。

(事務局)

恐らく浸水範囲が軽減される状況だ。

(都民委員)

一建が行っている別の貯留管を作らせるものと、この図示のものとはどういう関連付けをして作られているのか。

(行政委員)

計画している主要枝線がある。そのうち図の赤い部分だけを作って、上流と下流を繋げるまで使わないのはもったいないので、雨が降ったら真っ先に取り込む暫定的貯留管(道路から出てくる内水)である。下水道局、河川部の作っている古川の調節池は河川が溢れそうになるのを食い止めるもの(外水)。

(座長)

両方でやるからより良いということですね。

■ その他

(都民委員)

参考資料「渋谷川をたどるお散歩マップ」説明。渋谷川について書いてきたもの。TVで取り上げられた。都の河川と一体化して、日本のモデルになって都会をきれいにしていくために、りっぱな川に再生することを楽しみにしている。

(行政委員)

「水辺空間における緑化の推進」資料説明。

水辺緑化の推進を担当している。平成27年度末(オリンピック開催年)までに護岸工事延長の90%を完了させたい。

(座長)

緑化の提案か。

(行政委員)

検討を始めるので、情報提供してほしい。

(都民委員)

道頓堀川はツタが容量を邪魔するからダメとのこと。ツタを降ろす事はダメなのか。

(行政委員)

ツタは流れを阻害するという考えがある。

(都民委員)

道路拡幅箇所を大いに緑化してほしい。

(座長)

議事録を確認して今月中に事務局に報告をお願いします。事務局へのお願いとして、国との関係等連絡会運営に特殊な事情があるのかを、次回前に答えてほしい。

次回開催について

(事務局)。次回は年2回にこだわらず開催したい。